

## 内容評価細目の第三者評価結果 【障害者・児福祉サービス版】

### A-1 利用者の尊重と権利擁護

			第三者評価結果
A-1-(1) 自己決定の尊重			
1	A-1-(1)-①	利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	<b>a</b>
<コメント> 利用者の特性を理解し、障がいの状態や利用者のニーズを踏まえて適切な支援が得られるように個別支援計画書を作成し、利用者の同意を得て実施している。			
A-1-(2) 権利侵害の防止等			
2	A-1-(2)-①	利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	<b>a</b>
<コメント> 倫理綱領に基づいて利用者の尊厳を守り、人権を擁護して権利侵害のない支援に努めている。職員は内部・外部の研修を通じて倫理観を認識し、日々利用者との関わり方を確認しながらそれぞれが自覚を持って誠実に対応している。			

### A-2 生活支援

			第三者評価結果
A-2-(1) 支援の基本			
3	A-2-(1)-①	利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	<b>a</b>
<コメント> 利用者一人ひとりがその人らしく生活ができるように本人の思いを尊重し、心身の状況や生活習慣を確認しながら自律・自立に向けた個別支援が行われている。本人がどのようにしたいのか現実を見極めて、最善の方法を見出し利用者本位に支援している。			
4	A-2-(1)-②	利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	<b>a</b>
<コメント> いろいろな場面を通じて意思疎通を図るための工夫を凝らしている。コミュニケーション能力が十分ではない利用者には、顔色や表情を見ながら何を望んでいるのか、動作や仕草で判断を迫られる場合もあり、ホッとする顔や穏やかな表情で生活が送れるように、利用者の安心・安全な暮らしを目標にしている。			
5	A-2-(1)-③	利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	<b>a</b>
<コメント> 利用者とのコミュニケーションを図って信頼関係を築き、生活上の悩みなどは日々の生活の中から思いを積み重ねて判断するなど、意向の把握に努めている。担当制を設けて組織的に取り組み、より良い支援に繋げている。			
6	A-2-(1)-④	個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	<b>a</b>
<コメント> 日中活動は軽作業・機能訓練・創作活動・軽スポーツなどに利用者は当日のカリキュラムを見て自己選択し参加している。また余暇活動としてボウリング大会や旅行、カラオケ、コンサートやスポーツ観戦など自由に出かけており、社会参加することで障がい者に対する理解を深めてもらう事にも繋がっている。			
7	A-2-(1)-⑤	利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	<b>a</b>
<コメント> 利用者の障がいの特性を理解し、職員は個別支援計画で周知し適切な支援を行っている。聴覚障害の利用者とのコミュニケーションツールとしてほとんどの職員が手話で会話をすることができ、研鑽を積みながら意思疎通を図っている。			
A-2-(2) 日常的な生活支援			
8	A-2-(2)-①	個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	<b>a</b>
<コメント> 調理は業務委託しており、食事提供委員会で検討し食事形態や嗜好、減塩食など常に利用者の視点に立って提供し満足度が上がってきている。共有の冷蔵庫に自分専用の飲み物などを保管し楽しみにしている。入浴は週3回で身体状況に合わせてリフト浴も完備し、洗濯・整容など出来ることは自分で行うようにしている。			

## 内容評価細目の第三者評価結果 【障害者・児福祉サービス版】

A-2-(3) 生活環境			
9	A-2-(3)-①	利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	<b>a</b>
<コメント> 居室は2人部屋と4人部屋があり、畳ベッドにカーテンで仕切りプライベートが守られている。部屋割りについては災害等を考慮して、同じ障がいを持つ人(車椅子同士・聴覚障害の人同士)が同室にならないよう配慮し、互いに助け合えるよう安全な生活環境を整えている。全室スプリンクラーを設置し、また病気や感染症など一時的に不都合が生じた場合に対処するため2部屋用意してある。			
A-2-(4) 機能訓練・生活訓練			
10	A-2-(4)-①	利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	<b>a</b>
<コメント> 嘱託の理学療法士による個々の訓練メニューで実施し、心身の機能維持に努めている。生活訓練としては日常の生活の中で出来ることは自分で行うようにし、職員の力や福祉機器等を活用して自立に向けた支援を行っている。			
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援			
11	A-2-(5)-①	利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	<b>a</b>
<コメント> 利用者の健康管理のため月1回嘱託医(内科・胃腸科)が訪問し診察や相談に応じてもらい、また協力医療機関への通院支援も行われている。緊急時対応マニュアルを整備し、急な体調の変化や就労時の怪我等医師との協力で迅速に対応している。			
12	A-2-(5)-②	医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	<b>a</b>
<コメント> 医師の指示のもと看護師が服薬管理を行い、服薬一覧表で共有を図り、一人で管理できる利用者は支援実施書にて確認し誤薬防止に努めている。			
A-2-(6) 社会参加、学習支援			
13	A-2-(6)-①	利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	<b>a</b>
<コメント> リハビリセンターでは利用者の自由意思を尊重しており、コンサート・スポーツ観戦等の外出や外泊も届けたうえで意向に沿った支援を行い社会参加に繋いでいる。嗜好品については入浴日以外は飲酒を許可しており、タバコは決められた場所での喫煙を認めている。			
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援			
14	A-2-(7)-①	利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	<b>a</b>
<コメント> 平成28年度から外部サービス利用型共同生活援助として地域移行の取組を実施し、4名の方が地域の中での暮らしをスタートしている。日中は就労に通所し、朝と夜は世話人の協力を得ながら自立に向けた生活に取り組んでいる。			
A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援			
15	A-2-(8)-①	利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	<b>a</b>
<コメント> 年2回の家族会や送迎時に意見や要望を聞く機会があり、その都度連絡を取っている。行事やイベントには家族等にも案内を出し、ボランティアとしての協力もあり良好な関係を築いている。家族等の状況にも配慮し適切な支援が出来るよう対応している。			

### A-3 発達支援

			第三者評価結果
A-3-(1) 発達支援			
16	A-3-(1)-①	子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	評価外
<コメント>			

## 内容評価細目の第三者評価結果 【障害者・児福祉サービス版】

### A-4 就労支援

		第三者評価結果
A-4-(1) 就労支援		
17	A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	<b>a</b>
<p>&lt;コメント&gt;                      就労は最初見学から始め、やれそうだとってから仕事として一通り覚えて貰う様にしている。障がいの特性に配慮して、また個人の意向に沿って就労時間や作業内容を決め、仕事としての厳しさを理解してもらい作業に取り組んでいる。工賃産出基準表に基づいて年2回評価を行い、月1回の工賃と年3回の手当が支給され利用者の働く意欲に繋がっている。</p>		
18	A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	<b>a</b>
<p>&lt;コメント&gt;                      売上目標の達成に向けて作業に励み、身体に配慮し道具を工夫するなど効率化を図っている。作業現場で発生する怪我や事故等についてはリスクマネジメント委員会で対応し、安全チェックシートを活用して事故防止に努めている。</p>		
19	A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	<b>a</b>
<p>&lt;コメント&gt;                      職員は利用者にとってできる事を見極め、なおかつ工賃の高いものと様々な情報を得て営業にも力を入れ、新しいものにもチャレンジしている。ハローワークや関係機関と連携し就職に繋がるよう就労支援にも取り組んでいる。外部へ向けてのパンの販売は地域や公的機関、各種イベントなどで高い評価を得て施設の売り上げにも繋がっている。</p>		